



向井会長

県木造住宅産業協会（向井昭十会長）は24日、2018年度通常総会を前橋アルサで開催した。今回は役員改選が行われ、徳江司郎氏（建徳、沼田市）が新会長に選出された。

当日は同会員約40人が集まり、各議案を審議。来賓には県県土整備部住宅政策課の井上修課長や県森林環境部林業振興課の多胡正洋課長などを招いた。冒頭、あいさつに立った向井会長は「森林伐採見学ツアーやぐんまの木で家づくりのなか、さまざまな事業を通して、さらに魅力ある協会にしていきたい」と語った。議事では、2018年度の事業報告や決算報告などを審議。19年度の事業計画には、PR活動や工法推進の拡充や、木造住宅イベントの強化などを盛り込んだ。役員改選で選ばれた徳江新会長は「歴代会長の意思を受け継ぎ、協会発展に精一杯尽くす」と抱負を述べた。また、久保田勇氏（久保田工務店、桐生市）が副会長として新たに選出された。

山梅 労災防止決意新た

協力会安全大会を開く



山田社長

山梅（山田通明代表取締役社長、太田市）は21日、マリエール太田で2019年同社協力会安全大会を開いた。当日は同社と協力会から70人が参加。労働災害防止へ決意を新たに示した。冒頭、山田社長は「ちょっとしたミスを止めるためには一人一人の安全を順守するという心



70人が参加し開催

意気が欠かせない。きょう学んだことを会社で周知してほしい」と呼び掛けた。続いて、協力会の福地広会長や同社の総括安全衛生管理者を務める大沢将土取締役造園部長もあいさつに立った。安全優良業者表彰と安全管理優良職長表彰を実施したほか、安全衛生委員会の活動報告を橋本真之介氏が行った。また、工事課の花田昌之氏は「観光地から学ぶ安全・施工管理」、品質安全管理室の岡澤圭一氏が「突

買工事における施工対策」を主題に安全活動報告を行った。

最後は参加者全員でゼ口災コール、労災撲滅へ意識を高め合った。

20年度発注目指し

ひかり公園の整備工事

富岡市はひかり公園を設置する。周辺環境と調和したデザインとする。トイレに整備する便器数や建屋の規模など詳細や遊具の配置計画は地元の見解を踏まえ、設計に反映させる。富岡市はひかり公園（富岡1456-1ほか）への公衆トイレ設置など工事について2020年度発注を目指す。測量設計は富永調査事務所（高崎市）が担当。公園は、主要地方道前橋安中富岡線と市道6285号線に挟まれた三角形の敷地1125㎡。公衆トイレ棟や遊具など

あずま南小公園 用地測量に着手

伊勢崎市

伊勢崎市はあずま南小学校（三室町4290）の周辺に計画する公園について、用地測量を行う。2020年度に用地買収を開始、21年度には設計を進める考え。

あずま南小から主要地方道足利伊勢崎線を挟んだ南側の畑地を公園として整備する。北側の1.4haに公園機能を配置し、南部の1.1haを調整池や雨水幹線とする。用地測量業務は、あす（27日）開札する。公園の整備内容は、地権者や地域住民と調整しながらまとめる。造成工事の着手は22年度以降となるもよう。

災害配慮し設計基礎 道路の耐災性

国交省

災害時に生命線となる道路を対象として、大災害への備えに万全を期すために今後講じるべき施策を検討してきた国土交通省の有識者会議が、提案案を固めた。2016年。具体的には、非常時ににおける柔軟な車線連用のメニュー化と共有、災害に配慮した道路構造等の設計基準類の見直しなどを提言する。非常時に一部の車線が使えなくなった場合の復旧作業を進める上での工夫では、路肩の積極的な活用による走行空間の確保、LEDを利用した区画線標示の活用、可動式中央分離帯の活用を含むリバーシブルレーンの適用、臨時に設置する信

日建連

CINET普及促

会員企業向け説明会

CINETを活用し、全国で1万1346社が利用している。企業間取引の効率化・高度化、取引の適正化・透明性を確保する上で、国土交通省も電子商取引の普及促進を推奨する。主催者あいさつで振興た支援活動に引き続き、Tの導入事例店とフジタがゼネコンだけの方の中堅ゼネ入が進みつつ、